

IBC2012 神戸の晩夏は暑かった（公開版）

佐藤俊哉 京都大学医療統計

2012年8月25日(土) 関西の暑い夏

明日からいよいよ28年ぶりに日本で開催される International Biometric Conference (IBC) がはじまり、今日は会場で5時半から Local Organizing Committee (LOC) の事前打ち合わせがあるので、ゆっくり京都をでるつもりが、2時半から IBC 運営を委託しているリンケージさんのキックオフミーティングで主催者としてあいさつしてほしいといわれ、12時半に出発しなくてはならなくなった。早めのランチを食べ、京都駅でおみやげに茶菓を買って、時間ぎりぎりに神戸国際会議場に到着。挨拶して、一緒にお辞儀の練習などしていたらちよっと時間がかかってしまい、3時過ぎにやっとポートピアホテルにチェックイン。

南館のツインの部屋で、お値段もいいが、広々とした立派なお部屋で文句はいえない。水をゲットしに近辺散歩に出かける。ところが近くのコンビニはお休みで、かなりうろうろしていたら地元のスーパーがあり、そこで水やお菓子をゲットしてやれやれとさっきのコンビニの前を通ると「今日はお休みなので、駅前店にどうぞ」と張り紙がしてあるではないか。だったらはじめからそっちに行ったのに…。

ホテルに戻ると Geert Molenberghs 先生がジョギングから戻ってきたところで、汗びっしょりだった。もう中途半端な時間なので、部屋でぶらぶらし5時過ぎに会場に。1時間ほど LOC ミーティングをして同志社大の大森先生と三ノ宮に飲みに出かける。神戸牛かとも思ったが、大森先生が軽いものというのでサンキタの駅前市場で魚でも食べようといってみると、ななな一んと10人くらいが待っていてとてもじゃないけど入れそうになく断念。

かといってほかにあてもないので、お酒のそろえがよさそうな手近にあった居酒屋に飛び込む。まずは茶豆、牛すじのどて焼きに生ビールで乾杯。お酒に切り替えて、「がんばろう東北利き酒セット(南部美人、伯楽星、写楽)」にお刺身三種盛り、たこの柔らか煮、串焼き三種盛り、利き酒セットをお代わりしてまだ9時過ぎなのにすっかりいい気持ちに。ポートライナーで市民広場に戻り、大森先生はクオリティホテルだということで駅で別れ部屋に戻る。

8月26日(日) ウェルカムレセプション

7時に起きて食事に。今朝は「神戸たむら」(築地たむらの神戸店)でも朝食できるそうなので、朝粥をいただく。Geert もいて、グッドチョイスである。粥にかけるあん、鮭、たらこ、じゃこ、漬物などご飯のお供にひろうすととってもおいしかった。一旦部屋に戻って会場に向かうが、名刺を忘れたことに気がついたので取りに戻ると珍しくケータイがなった(普段はほぼカバンの中で死んでいる)。リンケージの北村さんからで、ショートコースの受付はどうなっているのか、とのこと。登録は事前にすんでいて当日受け付けはないはずなので受付なしで部屋に通していい、と伝えてすぐに会場に向かうが、結局名刺を忘れていた。

医療統計の寒水先生、院生の小谷さんもショートコースにきている。まあなんとかショートコースははじまったものの、やっぱり当日参加したいという人がいて、さっき当日参加はないから通していい、といったので、受付で当日参加の人もどんどん通してしまったようだ。ややこしいことが起きるが、国際本部事務局の **Dee Ann Walker** さんがきたので、これこれこういうわけなんだけど、と相談すると、ショートコースのウェブ登録は締めてしまったので、名前とクレジットカードの情報を送ってもらえ、というので、何人かにはそう伝えたが、その後で **Dee Ann** が、まだウェブ登録は有効なのでそれで登録しろということに。やれやれ。

一段落したら今度はコーヒブレイクで 5 階のコーヒがなくなった、と報告が。今日のショートコースは 5 階が 3 コース、4 階が 1 コースだけなので、4 階の分を 5 階に運んでもらいなんとかしのぐことにしたが、明日からは人数も増えるのに今日とおなじカップ数しか用意していないというので、あわてて明日からはコーヒを倍にしてもらうことにした。お昼を食べながら LOC の打ち合わせ、お弁当が 1000 円にしてはなかなかよくて安心した。

午後からは展示ブースの設営で医療統計院生の中村さんと玉井さんが準備にきてくれた。去年の卒業生が作ってくれたハッピも届き、一緒に展示する。統数研のブースは野間さんと椿先生がせっせと準備している。EPS はさすがに慣れていて立派なブースを持ってきた。2 時から三輪先生がオーガナイズした市民講演会で、学術会議副会長の春日文子先生もいらしてくださいました。午後のコーヒブレイクはつつがなく済んだようで安心する。さて、5 時からのウェルカムレセプションには神戸市長がごあいさつにきてくださるというので、神戸市の人もきている。EPS の巖社長が神戸市長と知り合いだそうで、ありがたいことである。

5 時過ぎにレセプション開始。みなさんもうくるや否や飲み食いしだして、あいさつもへったくれもあつたものではない。しばらくたって、IBS 会長の **Clarice Demetrio**、前会長 **Kaye Basford** さんたちがきたことを確認して、わたしが日本計量生物学会を代表してごあいさつし、神戸市長を紹介して市長のごあいさつ。

レセプションでは神戸市からの神戸ワインも振る舞われ、フードもまあまあで、わたしはみなさんの様子を見ていたため結局巻き寿司を 2、3 個つまんだだけだったが、量もちよつと足りないくらいでウェルカムとしてはちょうどよかったのではないだろうか。6 時くらいにはフードもドリンクもなくなり、しかしみなさん一向に帰ろうとせずだべっている。7 時前によく全員が帰って、最後まで見届けてリンケージのスタッフさんたちにあいさつして本日はこれでおしまい。

8 月 27 日(月) ようやくはじまり

目覚ましで 7 時に起きる。今朝は 9 時からオープニングセッションなので、早めに支度して、7 時 40 分に 2 階のレストランソーコーに。と、すごい行列。10 分くらい並んで、もう時間もあまりないので、せっかく豪華な朝食なのに、パンにサラダ、コーヒをぱぱっとすませ、会場に向かう。

8 時半に春日先生と学術会議の嶋田さんが来られ、ご一緒にメインホールに。さすがのわ

たしも今朝はジャケットにインターナショナルタイの完全装備である。IBS 会長 Clarice さん、前会長 Kaye さん、プログラム委員長 Christine McLaren さん、丹後先生、春日先生、わたしが雁首そろえて帝京大 山岡先生の司会で IBC のはじまり。山岡先生はきぼって着物姿。途中 Clarice さんがだいぶ時間をつかうものの、わたしは例によって簡単なあいさつですませ、おしりは時間通りに終わる。春日先生に宇宙怪人しまりす「検定の巻」をおわたしし、さすがにジャケットは暑いのでホテルに着替えに戻り、また会場に。

まだ 10 時半でプログラムはようやくはじまったところなのに、すっかり疲れて、もう今日一日は終わったような気分。水が足りなくなつたとのこと。暑いので水は切らさないように、明日から切らさないように増やしてもらおう。今日のお昼のお弁当もなかなかおいしくて、炊き込みごはんだったこともあり、ついつい全部食べてしまったが、食べ過ぎた。お昼を食べたら眠くなり、かといって寝ているわけにもいけないので、医療統計のブースに行って「宇宙怪人しまりす」をお買い上げいただいた方にサインをしたり、ポスター会場をチェックしたりと、見回りを続ける。次のセッションのときに一通り会場を見回ってみたが、どの会場もそここの入りで、なかなかいい感じである。今日は最後に IBS Regional Officers のレセプションがあるのでまだ気は抜けない。

6 時からレセプションが始まり、20 人くらいはきたらうか。フードもドリンクもあまり気味で、まあここはこんなものか。Kaye さんからランチが余っていてもったいないといわれたが、減らせるかなあ。会長たちは途中で帰ってしまったが、わたしは途中で帰るわけにもいけないし、結局ビール 2、3 杯とサンドイッチやつまみを少しつまんで、7 時過ぎに流れ解散、というのか全員帰ったので、最後を見届けリンケージのスタッフのみなさんにあいさつして本日は終了とする。

8 月 28 日(火) 入試で一時帰国

朝食が混んでいるので 6 時半に起きる。今朝は本館 30 階のレストランに。IBC 関係のみなさんも昨日で懲りたのか、今日はこちらにきていて、第一三共の小山さんも夫婦で来ていて楽しそうにしていた。パンケーキ、かりかりベーコン、はちみつ、サラダ、れんこんの煮つけ、グレープフルーツジュース、コーヒーの朝食、その後会場に。

昨日はいろいろあったが、今日からは平常となることを期待しよう。北村さんにお弁当の数を減らせないか交渉してもらおう。レジストレーションもつつがなく進み、セッションがはじまるとあとはしばらくすることもないので、入試のため大学に戻ることに。医療統計のふたりの面接をはじめにしてもらい、終わるや否やみなさんに失礼して、神戸に戻る。いったんホテルに戻って荷物を置き、再び会場に。ちょうどコーヒブレイクだと思っていたら、とつとつに終わっていた。午後は医療統計の小谷、高田がポスター発表。発表もつつがなく終わりこちらで一安心。手分けして会場に待機してもらっている総務委員の京大病院 手良向先生、阪大 濱崎先生、大分大 和泉先生にハッピーを差し上げる。あとは IBS の総会が終われば六甲ダイナーでビールが飲めるぞ。

総会は6時15分から1時間の予定だったので、六甲ダイナーは8時に予約したのだが、なんと30分で終わってしまった。手良向先生は統数研の松井先生たちとどっかにいったように会場に見当たらないので、大森先生、和泉先生とポートライナーで三ノ宮に出て、歩いて元町に向かう。先に出た寒水先生たちよりも早くついたが、ほどなく医療統計の面々が合流し、手良向先生だけがまだであるが先にはじめることに。今回は7種のビール飲み放題コースなので、まずは全種類小さなグラスもらいお試しすることに。あまり飲めない中村さんはピルスナーがおいしいといっているが、ピルスナーはふつーだよ。わたしはIPAとIPAホップスを飲み、どちらもいい感じで、次からは300mlのグラスに。ほどなく手良向先生も合流する。

ポーター、IPAホップス、クリスタルアンバー、IPA、クリスタルアンバーと飲み、クリスタルアンバーが一番印象に残った。フードは、前菜盛り合わせ(にんじんサラダ、ミートローフ、グリーンサラダ、ラタトゥユ、レンズマメなど)、生ハムサラダ、から揚げ、ピザ、ポテトとソーセージ、パスタといずれもおいしく、調子に乗って食べ過ぎ。大森先生、和泉先生と三人でタクシーでポートピアホテルに戻る。

8月29日(水) エスクカーション

7時過ぎに起きる。8時15分にポートピアホテルの地下へ。神戸カルチャーツアーは19名のところ2名早くも脱落で17名でスタート、ガイドはちあきさん。元会長 Andrew Meadさん、日本人では尚美学園大の華山先生が一緒。最初に湊川神社で楠正成公(日本の中心←「これからの臨床試験」参照)をお参りする。

IBC ご一行様がうろうろしていると、「ガイドさんはどこですか」と神社の方があらわれた。なんでも神社庁の方で東京から出向してきているそう。いつもの観光客と様子が違うので出てきました、と英語のパフレットをたくさん持ってきてくれる。なんの集まりかと聞くので、すかさず名刺をわたして国際学会のツアーだというと、絵馬もあるが10枚しかないからけんかになるかな、というので、いやいやありがとうございます、とおみやげにいただく。その絵馬をみて神社の関係者が小声で「いいんですか」といっていたのを聞き逃すようなわたしではない。遠くから来られた方からあげてくださいとちあきさんに頼んでおく。

次は白鶴博物館。酒造りのビデオと人形を観た後、試飲とおみやげ。純米を一杯飲み、まあ白鶴の味。しかしみなさんお酒をけっこう買い込んでいたので、どうもこのツアーの参加者はお酒が目的だったのかもしれない。Christineさんが白鶴のハッピーを着てうれしそうに写真を撮っているので、明日ハッピーをあげることに。つぎもまた酒心館というこんどはローカルの福寿というメーカーの売店とそこでお昼を食べるとのこと。最初に売店に行くところでも試飲があり、純米吟醸はノーベル賞のディナーでふるまわれたとのこととてもおいしかった。

隣接した[さかばやし]で昼食。ごま豆腐、豆腐、鮭のつけ焼き、茶わん蒸し、ご飯、漬物、みそ汁、豆乳羹、なかなかいいお昼でした。あとは震災博物館を残すのみ。もう17年前となり当日の朝は東京でニュースをみたのだが、最初はなにが起きたのかわからなかった。東日本大震災もそうだが、ほんとうに残念である。ツアーは順調に進み、予定通り3時にポートピ

アホテルに帰着。

とロビーには三輪先生とツムラの上原さんが JTB の人となにやらただならぬ気配で話している。どうも六甲ハイキングツアーがアナウンスされたものとは違う内容だった模様。このツアーは、三輪先生が「IBC にはハードなウォーキングツアーが恒例だから加えてほしい」と加えたものなのに、子供連れが行くような六甲山カンツリーハウスというところに連れていかれ、この中で自由行動だといったら、外人さんたちはハードハイカーのようでいやだと、勝手にどっかにいってしまい、三輪先生もガイドさんとどういふことなのか話していたためはぐれてしまったらしい。最初から話が違ふし、安全面でも問題があった、と三輪先生がかんかんになっているので、明日リンケージさんと話してなんとかしないとイケない。

夕方から三ノ宮に出て、ジュンク堂でローダンの最新巻を買っていざ駅前市場に。ふたりならんでいたがすぐに座れ、とりあえず生ビール。今日はアル抜きの予定だったが、ここは飲まないわけにはいかないだろう。えびと穴子の天ぷら、今日のお勧めしまあじの造りを頼み、突出しのあじの南蛮で一杯。突出しのあじがなかなかいける。すぐに天ぷらがきて、えびも穴子も熱々さくさくでビールが進む。しまあじは安いのでオッケー。ビールをお代わりして、えびの天ぷらをもう一本と、穴きゅう巻。えびはぷりぷり、穴きゅうもうまく、これであなた 2000 円でお釣りがくるとは、あとからあとからお客さんがくるのもよくわかる。

8月30日(木) カンファレンス・ディナー

夕べは割とよく寝られ、6時45分に起きる。支度して朝食に行くエレベーターで椿先生にばったり会ったので、ご一緒することに。今日はパンケーキ、かりかりベーコン、はちみつ、れんこん、筑前煮、春雨、サラダ、オレンジジュース、コーヒー。椿先生はおかゆを食べている。なんでもビッグデータがキーワードになっているが数学会がうまく立ち回っているとかで、統計関連学会連合で声明を出したらどうですか、とっておく。朝食会場で奈良のツアーに行ったというオーストラリア支部会長の Mario さんがいて、どうだったと聞くととてもヒューミッドだったが、素晴らしい場所でランチもよかったとのことで一安心。

会場に行くとき大橋先生が、この展示ブースで物品を販売する許可を得ているのか、SAS ユーザー会をやったときにダメと言われたし、学術会議と共催だから注意したほうがいい、とのことなので、とりあえず医療統計のブースと医学統計研究学センターのブースの販売を止めてリンケージさんに確認してもらうことに。ブラジルの IBC2010 の LOC 委員長 Dalton さんがいたのであいさつし、昨日はツアーに行ったかと聞くと京都に行った、とてもよかった、ランチがよかったとのことで、六甲ハイキング以外のツアーはよかったようだ。結局、会場も学術会議も営利目的でなければ物品販売 OK とのことのでことなきを得た。

興和の菅波さんが今日から参加なのだが、受付で登録だけしてお金を払わずにいつまいったそうで、各会場に「金払え～」というスライドが現れ、ちょっとかわいそうだがまあ仕方がなかろう。今日のお昼はサンドイッチにしてみたが、どうみてもお弁当のほうがおいしそうで失敗。お昼を食べた後、吉村先生をみかけたので、少し話をする。「はしごの最後の一段ま

でわからないから気をつけろ」というので何かと思ったら、吉村先生のマンションの屋根を修理した際に、大林組に勤めていた住人が俺に任せろと張り切ってやっていて、屋根からはしごとととととと、と調子よく降りてきてその最後の一段を踏み外して頭を打ってたいへんだった、とのこと。しかし、なにもそんなゲンの悪いことをわざわざいわなくてもいいのに、とちよつとあきれてしまう。

まあ後はカンファレンスディナーが無事に終わってくればわたしの業務はほぼ終わり、と思っていたのだが、吉村先生にこんなことを言われては最後の一段まで気を抜けなくなってしまった。4時からLOCの会議があり、Kaye、Clarice、Dee Annにハッピーをあげて、次のイタリアのAdorianoさんに引継ぎ。ブースに戻るとようやく恵子先生(妻)がやってきた。ホテルに荷物を置いてディナー会場の花鳥園に向かう。花鳥園はそれはそれは花がきれいで、恵子先生はコーフンして写真を撮りまくっている。ふたりでハッピーを着て準備万端。三々五々集まり、あいさつもなく、みなさんずるずると雪崩式に飲み物を飲みだす。恵子先生と座ってビールを飲んでいると椿先生がきたので一緒に座り、食べ物もみなさん取りに行きだしたので腹減ったーと騒いでいた恵子先生に食べ物を取りにいかせる。

そばに座っていた元会長のNiels Keidingさん、Tom Louisさんには奥様にと、また庶務理事のLinda Youngさんにも漆塗りのリップミラーを差し上げる。わたしもローストビーフ、串揚げなんかを取って戻るとExecutive CommitteeのPeter Njuhoさんが座っているではないか。しばしPeterと話していたら、Peterはケニア出身だけど、なんとNorth Carolina State Universityで修士と博士を取ったそうでびっくり。われわれはチャペルヒルにいたという今度はPeterがびっくり。飲み物を取りに行くと柳川先生と一緒にそのチャペルヒルのYoung Truongさんと奥さんのPsycheeさんが。恵子先生を呼んできて久々の再会を喜び合う。

ディナーは舞妓さん、餅つき、バンドと進み、花鳥園はきれいなところなのでもっと静かに話ができたらよかったのだが。料理はおいしかったし(焼きそばがよかった)、ビールもプレミアムモルツにしてもらい正解だった。少し足りない気味ではあったが、時間からいってまあまあだったのではないか。なんとかディナーも無事に終わり、みなさん満足されていたようなのでほっとした。まだ会場に残っている人たちに、thank you for coming, see you tomorrowと握手してそれとなく退出をうながし、からっぽになったのを見届けてから、大森先生、恵子先生とポートライナーでホテルに戻る。

8月31日(金) いよいよ最後の一段

6時に目が覚め、もう寝られそうもないので6時20分くらいに起きる。今日は最後なのでオムレツを焼いてもらい、パンケーキ、ひじき、れんこん、春雨、筑前煮、グレープフルーツジュース、コーヒーというもはやなに食かわからない朝食を食べる。荷物を持って学会場へ。

もう最終日なので参加者は増えそうもないが、なんとか予定の600名は行ってほしいなあ。トップのセッションのFisher Memorialを聞く。Fisher先生は大腸がんの手術の後、創に自分の大腸の細菌が感染し、抗生物質でコントロールできたものの、それが原因の肺水腫で急

変して亡くなられたとのこと。今回の学会で参加したセッションはとうとうこれだけ、結局あとは見回りをして過ごしたことになる。北村さんがきて、おとといの六甲ハイキングツアーに外国の参加者からクレームがあったとのこと。みると Warwick 大学の Jane Hutton さんからで、三輪先生から聞いた話とおなじクレーム。午後に JTB が説明にくるといので三輪先生にも立ち会ってもらふことにする。

すぐに Jane さんを探しに行き、こちらの手落ちでたいへんもうしわけなかった、とお詫びをするとわかったわかったと言ってくださり、「次のイタリアの LOC にいいハイキングツアーを用意するよう申し送ってほしい」とありがたいお言葉で、ほっとした。今日はお弁当で、内容もよく満足。今回の学会はコーヒーもおいしかったし、コーヒーブレイクに和菓子がでたりと、フードにはたいへん満足できた。12 時 45 分ごろ JTB の人が来て三輪先生と話を聞く。やっぱり仮に天気が良くてもハイキングではなく、「そのあたり散策」しか考えていなかったよう。最終的には JTB とわれわれ LOC から参加者におわび状を出すことにして、Jane さんにはわたしからもう一度お詫びすることに。

ブースももう終わりで、しまりす本は 5 セット×2000 円と検定の巻 5 冊売れたので、売り上げの 1 万 6 千円を全額 IBC に寄付する。

お買い上げいただいたみなさん、IBC2012 へのご協力ありがとうございました。

さあ、後はいよいよ最後のセッションとクロージングだけとなったが、最後の一段を踏み外さないようにふんどしを締めてかからないといけない。クロージングセッションの前に Jane さんを見つけもう一度お話しして謝り、リップミラーを差し上げる。いよいよクロージングセッション、いろいろとアワードがあり、これもつつがなく終わって全日程が終了。やれやれ。と、Mark Buyse さんが 5 階のサテライト会場と間違えて国際会議室にやってきたので、5 階までお連れし、これでわたしも京都に帰ることにする。

みなさんに楽しんでもらえたようだし、あちこちで「Are you OK?」、「Is everything OK for you?」と声掛けし、南にトラブルあれば行ってごめんなさいといい、東に不満のある人がいれば行ってそれはできないんですといい、大忙しの一週間だった。

IBC2012 にご寄附いただいた方々、ブース展示のみなさん、参加いただいたみなさん、IBC2012 にご支援、ご協力いただきありがとうございました。また、LOC 関連委員、リンケージのみなさんはじめケータリング、機材関係のスタッフの方々の献身的な努力なしではこのような成功は望めなかったと思います。

みなさんのご協力に感謝いたします。